



みんなの もうひとつの おうち

No.23
2022.3.1

「地域の方とかかわりながら」

今年はスイカ、イチゴ、野菜の3つにふれあいました。畑でスイカを作るため、保護者の方が経営されているEDEN-笑伝-さんにスイカの栽培方法を教えてもらいました。また、実際にEDENに行き、年長児がスイカを選んだものをみんなで食べました。2つめは、前職員の佐藤さんのいちごハウスに行き、いちご狩りを楽しみました。「甘くておいしかった」と教えてくれました。3つめは、野菜栽培をしている宮澤さんに、じゃがいもと大根の育て方を教えてもらいました。自分たちで大切に育てた野菜の味は絶品で、いつも以上に箸が進みます。苦手な野菜でも、「食べてみようかな」と挑戦する姿がありました。「野菜できたよ、美味しかったよ」と、元気な野菜を作るためのコツを教えてくれた宮澤さんに報告し、喜びを共感し合う姿が微笑ましく感じました。



離乳食ガイダンスに参加して

0歳児の離乳食は、毎日の献立サンプルを見える所に置いたり、保育参観などで離乳食を伝えてきました。しかし、コロナ禍で伝えることができなくなり、個別でのガイダンスを行うことになりました。

須藤乃梨子さん
(こうめ組/ゆうごくんのお母さん)

初めてのことで分からないことばかりで悩んでいたところ、実際に食べている離乳食を見せていただきました。量や食材の大きさ、栄養のバランスを教えていただくことができ勉強になりました。保育園では、栄養バランスやいろいろな食材を使用してくださるので安心してます。



はらくっちーの みんなのもうひとつのおうち



「はらくっちー」は、地域における公益的な取り組みを目的に、興道東部保育園で令和元年より実施しています。月1回、地域の方と一緒に遊んだり園の食事を提供したり、育児相談などを行ってきました。しかし、新型コロナウイルス流行のため、今年度は活動形態を変え実施しています。コロナ禍になりお家時間が増えたため、親子で一緒に楽しい時間を過ごしてほしいという思いから、親子で一緒に作ってあそんだりできる物や、季節ごとのレシピをのせたものを用意し各施設に置いていただいています。地域の方からも好評です。



コロナ禍の制限ある中、子どもたちのために何ができるかを考え、保護者の方々にもご協力をいただきながら進めてきました。子どもたちの笑顔は私たちにパワーを与えてくれます。その笑顔が絶えない楽しい保育を心がけ前を向いていこうと思います。



園長あいらし
「二度とない大切な今を」
先が見えないコロナ禍での葛藤の一年でした。十一月発表会のことです。感染対策の苦悩の中、子ども達を見ていて強く感じたことがありました。「今の姿」は「今だけの姿」ということ。ぜひこの姿を見学いただきたい、そんな思いから入替制の決断としました。そして開催された発表会は保護者の方や職員の方に涙が溢れ感動に包まれたものでした。私の心に残っている「ママの毎日」という詩があります。
独身の頃 ヒールの靴が好きで化粧するの
も好きだった。いつも流行りの服を着て出かけた。そんな私は今 泥だらけのスニーカーを履きちゃんとした化粧もせずいつも手を繋いで公園へ出かける。流行りの服もゆっくりに塗れるマスカラもなんだかもう思い出せない。
そう 私たちはつい忘れてしまっただ。この今がずっと続かないということ。好きなだけヒールが履けたらあなたを追いかけ遊んだあの空を思い出して私は泣くのです。う。好きなだけゆっくりに化粧できたら 服をひっぱりよじ登り私のやることなすこと邪魔する小さな手を思い出して私は泣くのです。う。一人で好きなことを出来るようになったら「ママ ママ」と呼びいつも私のことを探すあなたを思い出して私は泣くのです。
忘れるものか 絶対に。あなたを怒って自分に涙が出た日を。あなたの寝顔に笑った夜を。私は絶対に忘れない。自分のことが一番大切だった私に自分の命よりも大切だと思える存在があると教えてくれた子どもたちに心から感謝を。
子ども達の発表と保護者の方の涙を眺めながら、こんな時だからこそ、この子達の二度とない大切な「今」を保育のプロである私たちが心を一つにして守るんだ。そう心に刻んだ令和三年でした。
園長 藤戸 孝司



ああ～はらくっちい♡

～ 今日もまんぷくありがとう～

子どもたちは食べるのが大好きです。「食」を通じて様々な経験をした1年間であり、どのクラスにとっても、かけがえない食育となりました。食べる喜びやうれしさは、心も体も満たされ笑顔になります。その笑顔のために、これからも、子どもたちと一緒に食育を楽しんでいきたいと思ひます。

こうめ組 (0歳児)

「ほっこり えがおになっちゃう♡」

「おぎゃ～」と生まれて初めて口にするものは、ママのおっぱい、ミルク。段々成長すると離乳食が始まります。「10倍かゆって、なんだろう?」「何から食べさせたらいいのかな?」「食材の形、大きさ、固さはどのくらいかな?」など、不安な気持ちが少しでも和らぐように栄養士とお家の方と一緒に進めていけるようにガイダンスを行っています。そうすることで「あ～、そうか～、こうするといいなだね」と思えるようになり、初期食、中期食、後期食、そして完了食になります。食材を手づかみで食べたり、手にスプーンを持って反対の手でつまんで食べたりしているうちにスプーンで食材をすくって食べることができるようになり、自分で口に食材を入れた瞬間満面の笑顔になります。自分で食べるって「楽しいね」「ご飯っておいしいね」。0歳児の食べるは、人生の出発点。一人ひとりを大切に丁寧にサポートしています。

たんぽぽ組 (3歳児)

「野菜っておもしろい!」

年上児が畑で野菜を育てているのを見て、「やってみたい」と、プランターに人参とジャガイモを植えました。外あそびに行く度、「おおきくな～れ」と思いを込めて水やりをすると、日に日に大きくなっていく葉っぱ。いざ収穫すると可愛いミニサイズのじゃがいもと人参のご対面に「かわいい」と言葉を漏らしていました。春にはたけのこに興味津々で引っっこ抜こうと友だちを誘ったり、保育者の真似をしてスコップを使って掘り起こそうと必死な子どもたち。収穫したたけのこや野菜を絵に描いたり、おもちゃの包丁を使ってこまかく切り料理をしたりままごとあそびを楽しんでいました。

すみれ組 (4歳児)

「はじめてのクッキング」

春にさつまいもの苗を植えて、生長を楽しみにしていた年中組の子ども達。秋にはなんと巨大なさつまいもが収穫できました!「うわー!めっちゃでっかーい!」と収穫を大喜びしていました。早速スイートポテト作りを計画しました。

出来上がったスイートポテトは熱くて、甘くてとってもおいしい～!スイートポテトがたくさん出来たので「年長組さんと年少組さんにも食べさせてあげたい!あと、みんなのせんせいにもあげたい!」ということで、みんなにごちそうしました。甘いさつまいもにみんなの優しい気持ちが入ってとってもおいしいスイートポテトができました。

うめ組 (1歳児)

「準備や片付け、自分でできるよ!」

生活のあらゆる場面で「自分でやりたい気持ち」が芽生えている1歳児クラスの子どもたち。食事では、手洗いやお絞りの準備、食べた後の片付け、鏡を見ながら口を拭くことまで、自分でやろうとする姿が見られます。この姿は、大人や年上クラスの友だちの様子をよく見て真似することから始まりました。皿を同じ種類に重ねたり、残ってしまった食べ物はボールに入れたりしっかりと片付けができています。自分でやりたい気持ちに応えられるよう、保育者は全力でサポートしていきたいと考えています。

ゆり組 (5歳児)

「みんなで作ったお・も・て・な・し」

畑で採れたジャガイモ、ニンジンを使って、ポテトサラダとカレーを作りました。「お家で練習してきたよ」と真剣な表情でピーラーや包丁を使って、切ったり皮をむいたりしていた子どもたち。カレー作りでは、野菜を炒めたり、水を計って鍋に入れることにも挑戦!「いい匂いがする」「お鍋の中がぐつぐつしてきた」と調理の過程も楽しんでいました。出来上がったカレーとポテトサラダの味は最高!「こんなの食べたことがない」と大満足でした。クッキングを通して、自分たちで調理して食べることの楽しさを感じることができました。

給食

「心も体もおおきくなあれ!」

私たちが目標とする食育とは、子ども達の心と体を育てる給食づくりです。

食べ物を大切にする感謝の気持ちを持ってもらいたい、出来るだけ好き嫌いをなくしてもらいたいという思いの元、毎日子ども達の給食を作っています。

保育園で育てた野菜を給食やクッキングで使用しています。園で野菜を育てて収穫し調理するという経験を経て、その大変さや楽しさを学び、野菜が苦手な子も食べられている様子もあります。好き嫌いなくバランスよく食べる事は、生きていく上でとても大切なことなので子ども達が楽しく美味しく食事ができるようこれからも東部保育園らしい給食づくりをしていきたいと思ひます。

もも組 (2歳児)

「おみずをあげよう!おいしくな～れ!!」

春にオクラ、秋にはつか大根の種を植えました。「お水あげる」と、毎日たっぷりの水をあげていた子どもたち。野菜がちよつとずつ育っていく様子を間近で見て喜んでいました。はつか大根を収穫してみると、とってもかわいらしいミニミニサイズの大根が出てきて思わず「ちっちゃ!」と拍子抜けの反応を見せていました。けれど、自分たちで育てた野菜に愛着が湧いているようで、その場でみんなで「おいしい!」と喜んで食べていました。給食の手伝いもすることで、食材に対する興味や食欲にもつながり、毎日の給食をととても楽しみにしています!

